

保護者の皆様

豊能町立吉川小学校

校長 松田 寿春

学校教育自己診断の結果報告について

1. はじめに

残寒の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、昨年 12 月に実施いたしました「平成 30 年度学校教育自己診断（保護者用）」の集計結果と本校としての分析結果をお知らせいたします。同時に行った児童用・教職員用のアンケート結果についても合わせてその結果を分析し、来年度の学校教育並びに学校運営に生かしていきたいと思っております。

なお本アンケートの結果につきましては、学校協議会に報告し、委員各位のご意見ご提言をいただきました。

2. 吉川小学校「学校教育自己診断」結果について

(1) 保護者アンケート回収状況

配布 65 件（家庭数） 回収 65 件 回収率 100%

(2) 集計の見方 「A・B・C・D」の4段階での回答。

- ・「肯定的回答」A：よくあてはまる、B：ややあてはまる
- ・「そうでない」C：あまりあてはまらない、D：まったくあてはまらない

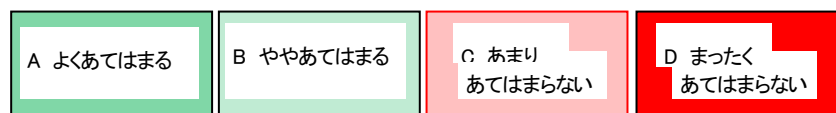
アンケート結果のA～Dの数値は無回答を除いての割合（%）です。

(3) 筆記回答について

貴重なご意見を書きくださりありがとうございました。いただいたご意見の中で必要に応じて直接ご説明させていただく場合もあり、いただいた全てのご意見は貴重な提言として受け止めさせていただきます。

以下の分析結果には記載いたしませんので、ご了解くださいますようお願いいたします。

3. 結果報告



(1) 学校経営に関すること

No.	項目	年度			
		H28	H29	H30	合計
1	学校教育方針や活動内容を理解している。	A: 36, B: 57, C: 6, D: 1	A: 35, B: 61, C: 3, D: 1	A: 38, B: 58, C: 5, D: 1	
2	学校は、保護者・地域の願いに応えている。	A: 55, B: 39, C: 4, D: 1	A: 25, B: 62, C: 13, D: 1	A: 29, B: 58, C: 12, D: 1	

11	学校は、保護者や地域の人々が授業を参観する機会を充分設けている。	H28	87		13			
		H29	77		21		2	
		H30	85		15			
12	吉小緊急メールは、役に立っている。	H28	81		19			
		H29	60		35		5	
		H30	71		26		3	
13	地域の方や学生サポーターの協力を得ながら学校教育を進めていることに共感できる。	H28	91		9		0	
		H29	68		26		5	2
		H30	78		20		2	

No.1 『学校教育方針や活動内容を理解している』

ここ3年間、肯定的評価（A+B）が93%（H28）→96%（H29）→96%（H30）となっています。数年後の保幼小中一貫教育を見据えて、2年前より本校の重点教育目標を「とよのの教育の推進」と決めました。これまで本校が大切にしてきた「よしかわの教育」をベースに、一貫校となることを想定して「とよのの教育」とは何かを探りながら、教育活動を進めてきました。アンケート結果からは、そのことに対するご理解と、それに従った学校教育方針や活動内容を概ねご理解いただいていると考えられます。今後より一層、「とよのの教育」をどう進めていくべきか、教職員は協議し、保護者・地域の皆様にお聞きしながら、本校児童の実態と課題に正対した教育活動を見定め、教育活動を進めていきたいと思ひます。

No.2 『学校は、保護者・地域の願いに応えている』

ここ3年間で、肯定的評価（A+B）が94%（H28）→87%（H29）→87%（H30）となっています。「学校は保護者・地域の願いに応えている」についての評価が、約90%ではあるものの、3年前よりは低下していることについては真摯に受け止め、保護者・地域の皆様の思いと願いを聴かせていただきたいと思ひます。また、学校からのお願ひは丁寧に説明させていただき、いただいたご意見を学校運営に反映させていかななくてはならないと思ひます。

No.11 『学校は、保護者や地域の人々が授業を参観する機会を充分設けている』

ここ3年間で、肯定的評価（A+B）が100%（H28）→98%（H29）→100%（H30）と高い評価をいただいています。今年度はさらに、10月のこれまでの土曜参観を学校公開として、2月の学校公開と合わせて2回の学校公開を行い、授業参観と通常授業を公開とし、地域の方にも開きました。また、12月の作品展・1月の児童会行事・2月のペースランニング大会等も公開して、保護者の方のみならず地域の方も応援・参観くださいました。今後も、現在の公開を維持していきたいと思ひます。

ただ、4・5月に連続して参観・懇談・PTA選出・PTA総会等が開かれるため、保護者の方等のご負担なども鑑み、今後、日程面等で精査させていただく方がよいのではないかと考えております。

No.12『吉小緊急メールは、役に立っている。』

ここ3年間で、肯定的評価(A+B)が100%(H28)→95%(H29)→97%(H30)と高い評価をいただいています。天候の急変や緊急下校等の緊急情報を緊急吉小メールで、連絡情報は連絡メールで、緊急メールの同じアドレスから2種類を使い分けしてお知らせしてきました。今年度は、自然災害や猛暑等に伴うメール配信が多かったことかと思えます。今後も、迅速に、かつ分かりやすく確実にお伝えできるよう努めていきたいと思えます。合わせて関係諸機関との連携や危機意識の向上・緊急対応体制、一斉下校の積み重ね等、安全面の充実を図っていききたいと思えます。

No.13『地域の方や学生サポーターの協力を得ながら学校教育を進めていることに共感できる』

ここ3年間で、肯定的評価(A+B)が100%(H28)→94%(H29)→98%(H30)と高い評価をいただいています。地域の方・サポーターの方には、登下校見守りや授業支援など、様々な場面でご支援いただいています。現在、約70名の方が吉小サポーターとして登録されていますが、年々ご高齢化されてきています。また、学生サポーターは今年度は0名で、保護者の方が吉小サポーターとして活動くださる率も減ってきております。サポーター制度の在り方について検討していき、保護者・地域の皆様が、子どもたちの活動に積極的にご参加いただき、教育活動を支援していただけるよう考えていききたいと思えます。

(2)学習に関すること

5	子どもは、授業が楽しくわかりやすいと言っている。	H28	58	35	8
		H29	42	52	6
		H30	44	46	10
10	通知表や個人懇談で、学習や学校生活の様子がわかる。	H28	67	30	3
		H29	56	42	2
		H30	55	41	3

No.5『子どもは、授業が楽しくわかりやすいと言っている。』

ここ3年間で、肯定的評価(A+B)が93%(H28)→94%(H29)→90%(H30)と高い評価をいただいています。ただ10%の方がそう思われていないことも真摯に受け止め、本年度は教職員全員が授業研究やミニ研修を実施しました。今後も授業研究を重ねて、楽しくてわかりやすい授業づくりに努めていききたいと思えます。

No.10『通知表や個人懇談で、学習や学校生活の様子がわかる。』

ここ3年間で、肯定的評価(A+B)が97%(H28)→98%(H29)→96%(H30)と高い評価をいただいています。本年度、通知表をパソコンによる入力・出力表記・ファイル管理形式に変更させていただきました。また本年度、「特別の教科 道徳」の教科化に伴い、項目を加筆いたしました。2年後の平成32年度(2020年度)に学習指導要領が改定され、外国語活動が教科化されるため、また項目を加筆していきます。今後も、学習や学校生活の様子がわかる評価表記に努めたいと考えます。

(3) 学校生活について

3	学校は雰囲気がよく、子どもたちは生き生きしている。	H28	72	24	4
		H29	48	48	3
		H30	63	34	3
4	子どもは、学校や学級は楽しいと言っている。	H28	78	19	3
		H29	53	42	5
		H30	65	32	2
6	子どもは、学校に友だちがいると言っている。	H28	79	19	1
		H29	71	27	2
		H30	75	22	3

ここ3年間で、No.3『学校は雰囲気がよく、子どもたちは生き生きしている。』肯定的評価（A+B）が、96%（H28）→96%（H29）→97%（H30）、No.4『子どもは、学校や学級は楽しいと言っている。』肯定的評価（A+B）が、97%（H28）→95%（H29）→97%（H30）、No.6『子どもは、学校に友だちがいると言っている。』肯定的評価（A+B）が、98%（H28）→98%（H29）→97%（H30）と高い評価をいただいています。

子ども達が、楽しく学校生活を過ごせること、学校の雰囲気がよく子ども達が生き生きとしていることは、教育活動の最大の目標といえます。肯定的な評価が高いものの、そう思わないと感じておられる方とその児童の思いを十分にくみ取っていく必要があります。学校は学ぶところ、頭づくり・体づくり・仲間づくりの調和のとれた教育を推進していきます。この中で、特に難しいのが仲間づくりといえるかもしれませんが、人権教育を大切にしつつ、机上の学習だけに留まらない体験的な学習等を通して、児童自らが主体的かつ楽しく学ぶ吉小ならではの授業づくりに取り組んでいきます。学校が楽しいと思える基礎は「楽しくわかる授業」であることを肝に銘じて、教職員は授業づくりに真摯に向き合い、その土台に立って仲間づくり（集団づくり）をすすめていきたいと考えます。

(4) 教育環境に関すること

7	学校は、いじめや暴力・体罰のない学校づくりに取り組んでいる。	H28	55	34	8	3
		H29	37	53	8	2
		H30	46	44	10	
8	学校は、子どもの生命を大切にす心や社会のルールを守る態度を育てようとしている。	H28	56	41	3	
		H29	43	50	5	2
		H30	52	45	3	
9	子どものことについて、気軽に先生に相談できる。	H28	67	27	6	
		H29	52	42	6	
		H30	58	34	8	

No.7『学校は、いじめや暴力・体罰のない学校づくりに取り組んでいる。』

ここ3年間で、肯定的評価（A+B）が89%（H28）→90%（H29）→90%（H30）と高い評価をいただいています。学校全体でいじめの未然防止の取組みを進め、毎学期「ここにアンケート」を児童に実施し、いじめ等の実態把握に努め、個別指導・ケース会議を開くなど個々の子どもの問題に迅速に対応できるように努めてきました。ただ、10%程度のいじめ等に対する不安をもたれている結果を真摯に受け止め、一人ひとりの思いを聞き、対応していきたいと考えます。いじめ防止の取組みは、本校人権教育の要であり最重要課題の一つであり、今後、より一層取り組んでいく必要があると考えます。

No.8『学校は、子どもの生命を大切にす心や社会のルールを守る態度を育てようとしている。』

ここ3年間で、肯定的評価（A+B）が97%（H28）→93%（H29）→97%（H30）と高い評価をいただいています。本校は、少人数でアットホームな良さがある一方、けじめをつけるという意識が少し低いと感じる部分があります。本校の課題としては「授業の用意を忘れない」「授業中は人の話を聞く」等の学習規律の定着や、「ろう下を走らない」「挨拶をする」等の生活習慣の指導について、保護者の皆様の協力を得ながら取り組んでいく必要があると考えています。

No.9『子どものことについて、気軽に先生に相談できる。』

ここ3年間で、肯定的評価（A+B）が94%（H28）→94%（H29）→92%（H30）と高い評価をいただいています。児童の思いに耳を傾け、よく聞き、児童に寄り添うこと、児童の本音や願いを理解することに、全教職員は真摯に向き合っています。今後も、保護者や地域の方々と共に考え、協力をいただきながら、子どもの理解や子どもの思いに寄り添い続けていきたいと思ひます。教職員は勿論のこと、SSW（スクールソーシャルワーカー）やSC（スクールカウンセラー）等の制度もありますので、気軽に教育相談くださればと思ひます。

(5) 家庭に関すること

14	家族で社会的なルールを教えている。	H28	71	27	2
		H29	74	26	
		H30	65	35	
15	学校のことについて、子どもと話す時間を持っている。	H28	54	42	4
		H29	50	44	6
		H30	48	48	5
16	家族は、毎日あいさつを交わしている。	H28	85	13	1
		H29	87	11	2
		H30	83	17	

17	毎日、朝ご飯を用意している。	H28	94		5	
		H29	91		6 2	
		H30	92		6 2	
18	子どもが忘れ物をしないように意識している。	H28	33	51	13	3
		H29	37	48	13	2
		H30	49	43	6	2
19	学校・学級通信、学校ホームページ、連絡文書等はきちんと読んでいる。	H28	48	48	3	1
		H29	45	44	11	
		H30	46	48	5	2

No.18『子どもが忘れ物をしないように意識している。』の肯定的評価（A+B）が（H28～29）は90%を下回っていましたが、今年度は92%（H30）でした。その他ご家庭に関わるほとんどの項目で、肯定的評価（A+B）が（H28～30）90%を超え、ご家庭の教育力の高さと学校教育へのご支援の高さがうかがえます。ご家庭で、朝ご飯をはじめ基本的生活習慣がつくように努めておられること、毎日挨拶を交わすようにされていること、ご家庭での子どもとのかわり方がしっかりできていることがよくわかる結果といえます。

また、人と人がコミュニケーションを図るためには、「おはようございます」という挨拶だけでなく、名前を呼ばれた時の返事や、「ありがとう」「ごめんなさい」という挨拶も大切だということを、保護者・地域の方と一緒にやって子どもたちが理解するようにしていきたいと思います。

4 おわりに

今年度の結果をまとめますと、概ね肯定的な割合が多く、学校としての取り組みが、地域・保護者の皆様方に一定認められていると感じます。

学校としては、子ども一人ひとりが楽しく学ぶ喜びを感じる授業づくりに取り組むこと、人権教育を核とした教育に努め人権感覚のあふれる学校環境づくりに取り組むこと、授業規律や学校生活規範の定着を図ること等の教育活動を進めていきたいと思います。全教職員が全児童の課題を共有し、全児童に声をかけ励まし、思いを聞くことに努め、様々な教育課題にチームとして向き合っていきます。

保護者・地域の皆様には、児童安全見守りや授業支援などで、多くの学校支援をいただき、学校と地域・保護者の皆様方が一体となった取り組みを進めていることに一定の評価をいただきました。今後も、子どもたちを、学校・家庭・地域が協力して見守り、育むことにご理解ご支援をよろしくお願いいたします。

学校教育目標である『ともに、よく学び、よく遊び、たくましく生きる子ども』、重点教育目標である『とよのの教育の推進』について、保護者・地域の皆様方のご意見を真摯に受け止め、日々の教育活動を進めていく所存です。

診断項目へのアンケート、また、たくさんの貴重なご意見をいただきありがとうございました。これからもどうぞ忌憚ないご意見をお寄せくださいますようよろしくお願いいたします。